

科 目 名

日本建築史
History of Japanese
Architecture

1年 後期 2単位 必修

磯 田 桂 史

概 要

日本の建築の歴史は、現代の建築技術者にとって必要不可欠な知識教養であるとともに、日本の今後の建築のあり方を考える際大いに参考になるものである。これまでの技術者が、例えば、夏期の高温多雨多湿、台風、地震等に対しいかに工夫してきたか等、様々な知恵や教訓を建築の歴史から読み取ることができる。この授業では、どのような社会背景の下で、どのような建築がどのような技術を使ってつくられ、それがどのように変化してきたかを、古代から近代初めまで、主として住宅、寺院、神社等について講義する。また、日本の建築は、古来、木造建築であったので、木造建築の技術についても、理解を深める。

学習目標

- (1) 日本建築の歴史の流れを理解する。
- (2) 木造建築の技術を大略理解する。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 日本の歴史と主な建築	日本建築史を学ぶ目的と本授業の概要 日本の歴史の概説と主な建築
② 日本建築史の基礎知識	木材の性質、尺貫法、基本的用語
③ 原始時代から古墳時代	竪穴住居、倉庫等大規模建築、集落の発展等
④ 飛鳥時代の建築	仏教伝来と法隆寺
⑤ 飛鳥奈良時代の建築 1	寺院建築（伽藍配置、薬師寺等）
⑥ 飛鳥奈良時代の建築 2	神社建築の起源、都城制（藤原平城平安京等）
⑦ 平安時代の建築 1	寺院建築（密教寺院、浄土教建築）、神社建築
⑧ 平安時代の建築 2	寝殿造り
⑨ 室町鎌倉時代の建築 1	寺院建築（大仏様、禅宗様、和様）
⑩ 中世の建築技術	桔木の役割等
⑪ 室町鎌倉時代の建築 2	寝殿造りから書院造りに至る過程
⑫ 安土桃山時代の建築	城郭建築、寺院建築、神社建築（権現造り）
⑬ 江戸時代の建築 1	書院造り、数寄屋造り、民家
⑭ 江戸時代の建築 2	明治初期の洋風建築
⑮ 近代黎明期の建築	建築単体及び群について保存の意義、制度、現状等
⑯ 歴史的環境の保存	学生自身による自己評価
⑰ 定期試験	

授業方法

教科書及び配布資料に基づき解説する。ビデオ、DVD も活用し理解を促進する。

学習到達度の評価

- 1) 授業中に、適宜質問をして理解状況を把握する。
- 2) 適宜、課題に対するレポートにより理解状況を把握する。
- 3) 中間テストを行ない理解状況を把握する。
- 4) 定期試験により、理解度、到達度を評価する。

評価方法

定期試験60%、中間テスト25%、レポート15%で評価する。

教科書・教材

監修太田博太郎「日本建築様式史」美術出版社

参 考 書

日本建築学会 編「日本建築史図集 新訂版」彰国社

履修上の注意

日本の歴史について、興味を持ち理解していることが望ましい。

オフィスアワー

適宜、また昼休み（12：00～13：00）にも研究室にて、講義内容に関する質問を受付ける。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修／選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてB2に関連する。	必修	22.5時間